

導入製品

■リプレイサーバ

Mira

ROSS Video社 Mira



岡田 光司 氏(中)
金森 瑛基 氏(左)
三宅 一輝 氏(右)

地元を愛す。



eat 愛媛朝日テレビ

会社概要

Profile

株式会社 愛媛朝日テレビ
開局：1995年(平成7年)4月1日
本社所在地：
愛媛県松山市和泉北1丁目14番11号

愛媛朝日テレビ(eat)では、開局25周年となる2020年4月から「地元を愛す。」をキャッチコピーに掲げ、ネットや衛星放送など、さまざまなメディアやデバイスが氾濫する中で、地域のみなさんの知りたい「愛媛のいま」をどうやって届けたいのか? どんな番組、イベント、企画が地域にお住まいの方々のニーズにこたえることになるのか? など日々試行錯誤しながら、「親しみやすさナンバーワン!元気ナンバーワン!楽しさナンバーワン!」のeatビジョンを掲げ、地域ナンバーワンを目指して頑張っています!

<https://eat.jp>

新たなリプレイサーバとしてMiraを導入 直感的な操作と柔軟性のある機能設定で演出の幅を広げる!

スポーツ中継に必要な不可欠なリプレイサーバ 故障により、急遽代替機の検討を始める

「親しみやすさ・元気・楽しさ」すべてのナンバーワンを目指す愛媛朝日テレビ(以下、eat)では、リプレイ映像やスロー映像などスポーツ中継、特に高校野球中継には必要不可欠なリプレイサーバを、既存機器に替えて新たに導入。甲子園を目指す熱き戦いの臨場感や、選手の懸命なプレーを地元ファンにお伝えしている。さらにeatでは、今回導入した機器をリプレイやスロー映像に限ることなく、新たな映像表現に用いることで、演出の幅を広げ、地元の皆様により親しみやすく、より元気をお届けできる放送局を目指している。

eatでは、自分たちにはできることは何だろうか? を常に自問自答しながら、2020年4月からは「地元を愛す。」をキャッチコピーに掲げ、地域のニーズにお応えしながら、地元の皆さんの一番知りたい「愛媛のいま」を、日々試行錯誤しながらお伝えしています。

そうしたeatの特徴のひとつが高校野球中継の充実です。社員にも元高校球児が多く、どこよりも熱く、どこよりも詳しい解説が自慢です。またeatでは、高校野球アプリを独自に提供して動画配信を行うなど、新しいアプローチで愛媛の高校野球を盛り上げています。

そんな高校野球中継で、球場の臨場感やプレーの緊迫感をお伝えするために大切なツールが、リプレイやスロー映像を送出するリプレイサーバです。しかしeatでは、これまで活用していた2台のうち1台が壊れてしまい、修理を依頼しましたが、メーカーの部品サポートが終了しており、修理不可となってしまいました。リプレイサーバは、スポーツ中継、特に高校野球中継には欠かすことのできない機器であるため、eatでは急遽代替機器の選定を始めました。

必要条件の1番は使いやすいインターフェース さらに将来性にも考慮して機器を選定

新たな機器選定において、eatではまずその必要条件を検討し、その結果以下の2点が挙げられました。

- ・ 短期間で習熟可能で、使いやすいインターフェースや操作感であること。
- ・ 将来的に既存機器も替えた場合、2台で素材共有ができる機能を有していること。

こうして決定した必要条件に関して、技術部 主任の金森 瑛基 氏は次のように話します。

「弊社では、スロー専任のオペレータはいませんので、カメラマンやVEが兼務することになります。そのため誰もが使いやすいインターフェースであることが1番重要です。またこれまでの2台は、それぞれ独立したサーバとコントローラを持っており、入力素材の共有ができていませんでしたので、将来的には2台で素材共有が可能となる機器にしたいと思いました。」
eatでは、こうした必要条件を元に複数メーカーの機器を選び、スペックや実際の操作感、見積り額などを念に比較検討しました。その結果、デジカス社が提供するROSS Video Miraの採用が決定しました。

直感的な操作によるスピード感! デジカス社の迅速なサポートも評価

Miraに決定した理由について金森氏は、「理由の1番はやはり操作性です。コントローラの画面が左右に分かれており、右側でプレイリストを作成して、左側で送出します。ひと目でわかりやすいなと感じました。」
また、直感的なメニュー構成にも優位性を感じたと、技術局 技術担当部長 岡田 光司 氏は、次のように話します。



株式会社 愛媛朝日テレビ
技術局 技術担当部長
岡田 光司 氏

「他社製のものは、メニューが階層になっていることが多く、ちょっと通常と異なることをしたい場合は、シフトを押して別メニューを呼び出すといった操作が必要になりますが、Miraはほぼすべてのメニューが表に出ており、直感的で素早い操作が可能です。スポーツ中継のリプレイ、スロー送出はスピード感が何より大切ですので。」

こうしてMiraの優位性が明らかになったが、最終決定はデジキャス社のサポートにあったと金森氏は振り返ります。

「3月下旬頃から機器の比較検討を始めましたが予想より時間がかかってしまい、決定したのは5月中頃でした。高校野球の愛媛県大会は7月初旬に開始されるため、設定や習熟期間を考えると遅くとも6月中旬までには必要でしたが、デジキャス社はその短い納期を確約してくれました。実際にはさらに2週間ほど早く納めていただけたので、十分な習熟期間を取ることができました。」

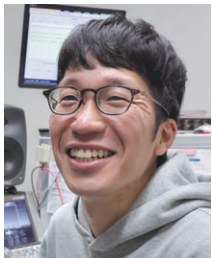
また、納品後のフォローについても、金森氏はデジキャス社を評価します。「海外メーカーの製品ですのでマニュアルは英語なのですが、基本的な機能については日本語マニュアルをご用意いただけました。また、一部特殊なケーブルが必要だったのですが、こちら素早くご用意いただけました。さらに、ちょっとした操作の疑問についてもメールや電話で迅速に対応していただき、本当に心強いパートナーだなと感じています。」

迅速で確実な操作をもたらすMira 今後はさらに幅を広げた活用にも期待!

eatでは、十分な習熟期間を経て現場に導入されたこともあり、Miraは当初からそのメリットをいかんなく発揮している。

プレイリスト編集の操作性について、技術部の三宅 一輝 氏は次のように評価します。

「他のシステムでは、ハイライトからプレイリスト化したものにおいて、イン点とアウト点を縮めることはできるのですが、タイムラインを延ばせる範囲(ディレイション)には制限があります。その点Miraにはその制約がないので、プレイリスト化されているファイルを、後からエディットモードで柔軟に編集することができます。」



株式会社 愛媛朝日テレビ
技術局 主任
金森 瑛基 氏



メニューが表に出ており、直感的な操作が可能。な点についても「Jリーグ中継の場合『オフサイドのリプレイでは、蹴る瞬間に一度再生を止めてから、スロー再生してください』と厳しく言われており、他のシステムではシフトキーを押して、Qアップのポイントを決めてという作業が必要になりますが、MiraのEOI機能を使えば、インとアウトの間のQアップポイントをボタン1つで決めることができます。」と岡田氏は評価します。またMiraは、操作や設定の柔軟性においても優れているという。

「例えば、入力1が普通のカメラで入力2がハイスピードカメラになっている、ハイスピードカメラを200%で再生しないといけないとなった場合でも、Tバーを瞬時にバー1、バー2に切り替えることができるので素早い操作が可能です。またジョグダイヤルを使わず、Tバーで巻き戻し・早送りをするという設定もできます。」(岡田氏)

さらにMiraの優れたサーチ能力も、迅速で確実な業務に貢献している。「とにかくサーチスピードがとても速いです。サーチボタン押して、キーボードでパッと入力すると、すぐにサーチ結果が表示されます。」(金森氏)

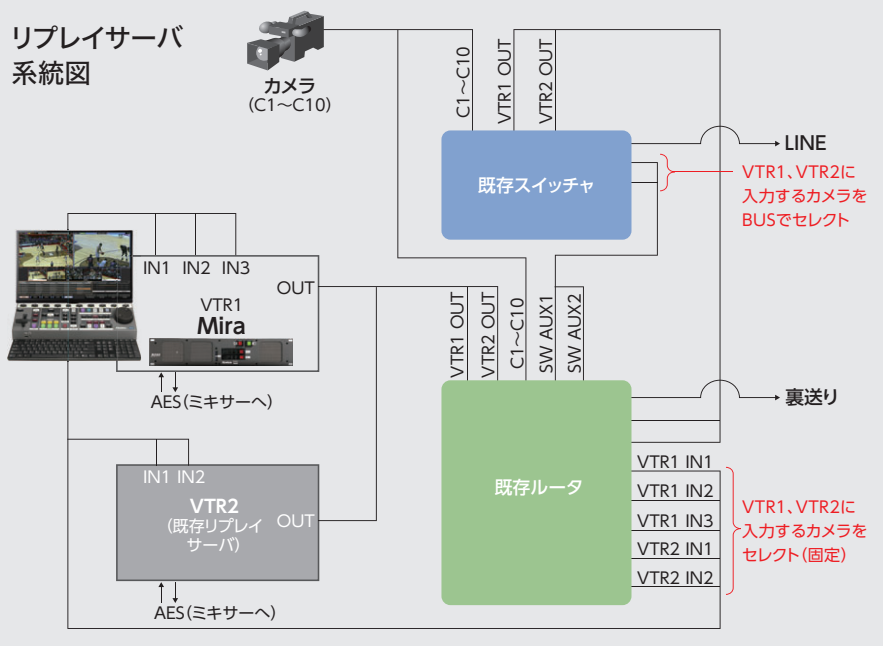
こうしてリプレイサーバとして十分な導入効果をもたらしているMiraだが、eatではさらなる活用にも期待している。

「今後は、スポーツ中継のリプレイサーバとしてだけでなく、2つの出力対応という機能を活かして、例えばNDI出力対応のCGからクリップを作り、αチャンネル付きでNDIをMiraにインポートしてクリップを作ることで、動画送出機として活用することも検討しています。もちろん、リピート再生はお手のものですので、新たな映像表現で、演出の幅をグッと広げることができるのではないかと期待しています。」(岡田氏)



株式会社 愛媛朝日テレビ
技術局
三宅 一輝 氏

リプレイサーバ 系統図



2022年11月作成